

－平成 30 年度第 1 回（第 18 回）建設技術講演会－

共催：（一財）茨城県建設技術管理センター
（公社）土木学会 関東支部 茨城会

（一財）茨城県建設技術管理センターおよび土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたい、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す 2 名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：平成 30 年 7 月 27 日（金） 受付 12:30～ 講演 13:45～16:15

○場 所：（公財）茨城県開発公社 4 階 大会議室

○プログラム：

13:45 開会

13:45 主催者挨拶

13:50～15:00 （質疑時間を含む。）

〈講演 1〉 土木情報学のこれからの展開－CIM/GIS/IoT の融合による

新たな社会インフラの創出に向けて－

〈講 師〉 宮城大学事業構想学群価値創造デザイン学類 教授 蒔苗 耕司 氏

〈概 要〉 社会インフラの情報基盤としての CIM/GIS の整備が進むとともに、

IoT や人工知能、ロボット等の諸技術も急速に進化し、これらの情報基盤と技術を融合させた新しい社会インフラの仕組み創りが求められている。

本講演では、土木情報学のこれからの展開として、これらの情報環境の下で目指すべき社会インフラの方向性について議論するとともに、

急速に ICT が進化する中でこれからの土木技術者が担うべき役割や教育・人材育成の課題について考える。

15:00～15:10 休憩

15:10～16:15 （質疑時間を含む。）

〈講演 2〉 ボーリングデータによる地盤モデル作成の自動化と

水戸市の三次元地盤モデルの紹介

〈講 師〉 ジーエスアイ株式会社 代表取締役 豊田 守 氏

〈概 要〉 近年、土木建築工事で地盤情報が十分に把握されていないことが原因での

施工不良や大事故が多々発生している。このようなことを受けて 2018 年、国土交通省は、直轄事業の「土木工事共通仕様書」と「地質・土質調査業務共通仕様書」を改訂し、地質・土質調査と工事の受注者に地盤情報を「地盤情報データベース」に登録することを義務付けた。

今後は、土木建築施工に伴って多くの地盤情報が利用できる可能性がでてきた。地盤情報から三次元地質モデルを作成するには、ボーリング柱状図の地層区分から始めなければならない。ボーリング柱状図の地層区分を行うためには、地質を解釈する技術者が必要となる。このため、施工の検討に利用する地盤モデルを作成するのに時間を要する。さらに、施工中に追加したボーリング情報を素早く利用するためには、自動的に地盤モデルを作成する技術が必要である。

本講演では、自動モデリングシステムと、この手法で作成した水戸市の三次元地盤モデルを紹介する。

16:15 閉会

- 参加費：無料（事前登録制，別添申込書によりFAX又はEメールでお申し込み下さい）
- 特典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます。
- 連絡先：〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部
土木学会関東支部事務局 担当：曾我部まで
TEL/FAX 0294-38-5160 E:mail : sogabe.natsumi.0123@gmail.com

平成 30 年度第 1 回(第 18 回)建設技術講演会 参加申込書

〈開催日時〉

平成 30 年 7 月 27 日 (金) 受付 12:30～ 講演 13:45～16:15

〈開催場所〉

(公財)茨城県開発公社 4 階 大会議室

〈申込者〉

機関・所属名	
申込者職氏名	
電話番号	
F A X 番号	

〈参加者〉

所属 (課・所)	役 職 名	参 加 者 氏 名	CPD 希望の有無
			要 ・ 不要
			要 ・ 不要
			要 ・ 不要
			要 ・ 不要
			要 ・ 不要

〈申込先〉 土木学会関東支部茨城会 担当

事務局 曾我部宛

TEL/FAX 0294-38-5160 E:mail : sogabe.natsumi.0123@gmail.com

※FAX の場合は送り状不要です。

〈申込期限〉 平成 30 年 7 月 13 日 (金) まで

※CPD 希望の有無は、必ず記入して下さい。